

バックナンバーと特集テーマのご案内

過去2年分のバックナンバーは当社に在庫がございますので、ご入用の際は当社販売・PR部までお申し込みください（☎ 03-3817-5650 FAX 03-3815-7804）。

それ以前の号については東亜ブックにお問い合わせください（〒178-0061 東京都練馬区大泉学園町5-27-11 ☎ 03-5947-4781 FAX 03-3923-4539 E-mail: st@toabook.com URL: <http://www.toabook.com/>）。



Vol. 60 No. 9 (2026年9月号)

特集 “わかりにくい痛み” に向き合う力



慢性疼痛の理解には、侵害受容性、神経障害性に加え、国際疼痛学会が認めた第3の痛み「痛覚変調性疼痛」の病態把握が重要である。これは組織の損傷なく、中枢性感作や疼痛抑制系の低下により生じ、心理社会的要因も痛みを増幅させる。そのため保存的介入では、局所の修復だけでなく、運動療法や神経科学教育、認知行動療法などを組み合わせた集学的アプローチが不可欠となる。こうした包括的アプローチを臨床でどう展開し、全国のセラピストがどう実践につなげるべきか、ぜひ皆様と議論したい。

Vol. 60 (2026年)

- No. 9 “わかりにくい痛み” に向き合う力
- No. 8 うまくいく症例プレゼンテーション
- No. 7 ERAS 時代の大腿骨近位部骨折ケア
- No. 6 栄養診断としての骨格筋量評価up to date
- No. 5 目標設定について考える
一何のためにそれをめざすのか
- No. 4 理学療法現場で役立つ
保存版 トレーニングの基本
- No. 3 医療-介護連携
一スローガンを実践へ広げてつなぐ
- No. 2 変形性股関節症—最新ガイドラインで
ADL・QOL 向上をめざす
- No. 1 変形性膝関節症—最新ガイドラインで
ADL・QOL 向上をめざす

Vol. 59 (2025年)

- No. 12 慢性炎症と運動療法
一運動による炎症制御の可能性
- No. 11 Common disease としての高齢者肺炎
- No. 10 大脳基底核—分子機構からパーキンソン病の理学療法まで
- No. 9 不安定関節に対する理学療法
- No. 8 運動器疾患における理学療法アウトカムと臨床実践
- No. 7 血流と理学療法
- No. 6 脳卒中片麻痺
一理学療法の歩みと最新の取り組み
- No. 5 機能解剖学に基づく疾患別理学療法
- No. 4 スポーツパフォーマンス改善をめざす
プロフェッショナルの視点
- No. 3 科学的介護
- No. 2 遠心性収縮を考える
- No. 1 隣接関節の運動の影響

Vol. 58 (2024年)

- No. 12 “子ども” と “母” をつなぎ支える理学療法
- No. 11 Multimorbidity and Multiple Disabilities (MMD)
一多疾患重複時代がやってきた！

次号予告

Vol.60 No.11 (2026 年 11 月号)

特集

急性期病院における理学療法

—早期離床・連携・HAD 予防

- 急性期病院における理学療法 総論 市川 毅
- 大腿骨近位部骨折術後の急性期理学療法 黒部恭史, 他
- 椎体骨折後の急性期理学療法 峯玉賢和, 他
- 脳卒中後の急性期理学療法 伊藤翔太, 他
- 心不全後の急性期理学療法 鬼頭和也, 他
- 肺炎患者における急性期理学療法 青木秀樹, 他
- 消化器癌周術期の急性期理学療法 鈴木昌幸
- リハビリテーション・栄養・口腔連携体制加算を通じた急性期理学療法 … 内田健作

Close-up

再入院を防ぐ！ 心不全患者のための理学療法超実践

- (急性期) 病院 濱崎伸明
- 外来における心不全患者のための理学療法超実践 森沢知之
- 再入院予防の主戦場は在宅である—心不全患者に対する
訪問リハビリテーションの実際と理学療法士の役割 井谷祐介

連載

- 脳画像を多職種連携に活かす！ 脳卒中診療編 ⑦
脳出血 (被殻) 内藤善規
- 発達性協調運動症 理学療法士の実践ガイド ⑤
多職種連携アプローチの実際 (家族支援も含む) 春田大志
- 計測力を磨く—簡易機器で始める臨床研究入門 ⑧
呼吸機能の計測 森 健太郎, 他
- おさえておきたい！ カルテのみかた ⑦
急性期脳卒中 (脳梗塞) 鎌田将星, 他

*都合により内容が変更となる場合もありますのでご了承ください

年間購読のご案内

- 1 冊ずつ購入するよりお得！
- 発行後すぐに送料無料でお届けします！
- 「電子版」なら、1 年分の購読料で
創刊号からのすべての論文・記事が読み放題！

お申し込みは当社ウェブサイトまで
<https://www.igaku-shoin.co.jp/journal-subscription>



2026 年 年間購読料

(12 冊, 税込, 送料弊社負担)

冊子版	23,958 円
電子 + 冊子版/個人	27,258 円
電子版/個人	21,912 円